

トキが舞う金銀の島 3億年の旅とひとの暮らし

佐渡ジオパーク

ジオパークとは、地球や大地を表す(GEO)と公園(PARK)をあわせた言葉です。その地域の優れた地質や地形をはじめ、自然や文化、歴史、暮らしや産業などを「まるごと学ぶ」取り組みで、2015年にユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の正式なプログラムになりました。佐渡ジオパークでは、優れた地域資源を生かし、理科や地理、歴史、文化などを体験学習できます。



- 1 私たち人間の営みは、大地と深く関わりがあります。その関連性やストーリーについて現地に足を運んで調べてみましょう。



土地球を
学ぼう!



お問い合わせ



佐渡観光交流機構
〒952-0011 新潟県佐渡市両津東353(両津港佐渡汽船ターミナル2F)
TEL. 0259-58-7285

活動1

所要時間 1~4時間

ジオツアーに参加しよう

ジオパークガイドと一緒に見学することで、目の前にある岩や地層などの意味を持っているのか教えてくれます。また、その地域との関係性や人々の暮らしに与えている影響などを楽しく教えてくれます。見学地には、自然環境だけではなく観光施設や名所なども含まれています。



活動2

所要時間 30分~1時間

化石レプリカ作り

化石は、大昔の環境を知る手がかりとなります。お湯でやわらかくなるプラスチック樹脂を使って、化石のレプリカ作りに挑戦してみましょう。なぜ化石のレプリカが必要なのか?など、講師がわかりやすく解説します。



活動3

所要時間 30分~2時間

ジオパーククイズに挑戦

「ジオパークってなあに?」「佐渡や日本列島はどうやってできたの?」講師がクイズ形式で楽しく解説します。ジオパークや、佐渡の大地のなりたちに加え、それらがどのように人の暮らしとつながっているか、考えてみましょう。



国内で広がる、ジオパーク

2019年4月現在、世界ジオパークに認定されている地域は41カ国147地域あります。国内には、日本ジオパークが44地域あり、そのうち9地域が世界ジオパークに認定されています。多くの地域が、ジオパークを通して活気ある地域づくりや教育などに活用しています。(左の画像は沢崎海岸)

